

ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者：60代前半 女性 介護度 5

利用期間：H30年4月初旬～

既往歴：感染性心内膜炎 肺炎球菌性髄膜炎 化膿性脊椎炎 僧帽弁逆流症
術後 脳梗塞（右不全麻痺、失語症） 大動脈弁閉鎖不全 急性心不全

経過：上記既往歴でリハビリ目的にて当所に入所となった。運動性失語症にて単語レベルのコミュニケーションは可能。右不全麻痺あり、健側上下肢、頸部と体幹の筋力低下著明で基本動作介助要す。声をかけると時折、笑顔を見せてくれる。日中リハビリ以外テレビを鑑賞していることが多い。

内 容

日々、ご自分からは何かを、訴えたりする方では無く、車イスでTVを見て過ごされている事が多く、声掛けすれば、レクリエーションの体操や、リハビリの歩行訓練など、一生懸命に取り組まれている方である。

そんな日常の中、次男様の結婚が決まり、次男様とお相手の方が、リモートであったが、面会に来られ、とても嬉しそうに、お話を聞き、頷かれたり、失語にて言葉を声に出そうとするも、上手く伝わらず、次男様達には聞き取れない様子であった。

結婚式に出席する予定であったが、コロナ禍により、出席が出来なくなってしまった。とても楽しみにしていたので、何かできる事はないか・・・と、担当職員から『ビデオレター』の提案があり、ご本人にも伝え、
「ぜひ、やりたい」の言葉に頷かれ、ご主人様にその旨を伝え、とても喜んでくれ、結婚式に着る予定の服を持ってきてもらい、ご家族にも協力して頂いた。

ビデオ撮影の日は、式用の洋服に着替え、お化粧品をして差し上げると、普段とは全く違った、まさに『凜とした母の顔』、その姿はとてもステキな表情が見えた。

STの発声練習の協力もあり、お二人へのお祝いメッセージは、今までで一番のはっきりとした、力強い声で、伝えていた。

日々努力している、歩行練習の様子もビデオに取り、短いメッセージではあったが、ご本人の ‘お祝いしてあげたい’ と云う気持ちと職員が、それを ‘サポートしたい’ という気持ちが詰まったビデオレター

が完成し、次男様ご夫婦に、手渡す事が出来た。

ご本人、ご家族にとって大切な日になり、職員皆がOneTeamとなって関わる事ができ、幸せな時間を共有できた事例である。